

がんばってます神戸の農業

No.18 伊川谷町

多彩な農産物の生産が行われ、多様な農村地域がある神戸市の農業委員の地元を順次紹介していきます。

今回は神戸市西区の伊川谷町と、そこでがんばっている農家さんをご紹介します。

○伊川谷町

西区の南東部にあり、市街化が進み、住宅地も増えていますが、市街化調整区域も多くあります。農産物は軟弱野菜（ほうれん草、小松菜、水菜等）や花きの生産が盛んです。また、出荷先として明石市場にも近く、都市近郊の土地条件を活かした農業経営をされています。

○がんばる農業者 鷺野 チャンタラ 沙織 さん

鷺野さんが伊川谷町で農業を始めて今年で3年目になります。もともと同町で生まれ、祖父母が農業をする姿を見て育ちました。国内外で農業以外の仕事をしていましたが、夫と共に、地元に戻って農業を始め、家族と一緒に、生まれ故郷で働けることの喜びを感じているそうです。

また、生まれ育った地域のため、周辺の方から色々とサポートしてもらえることも多く、スムーズな就農につながりました。現在所有する施設を譲ってくれた方から農業技術の指導を受けたことが、非常に役に立ったとのことでした。

現在 30a ほどの施設で水耕栽培のほうれん草、セロリ、水菜、菊菜を育てており、市場や JA 直売所等に出荷しています。

10 人のパートタイム雇用の従業員がおり、そのほとんどが主婦なので、家族の病気や用事等での急な休みにも柔軟に対応し、働きやすい職場環境づくりに気を遣っています。



～Profile～

1986年8月生まれ。2018年より農業経営を開始。主な栽培品目は軟弱野菜



鷺野さんご自身も、就農後に出産を経験し、家事や子育てと農業との両立に奮闘しているところで、その経験から従業員の状況への理解が深まり、逆に子育てのアドバイスをもらうなど、良好な関係づくりにつながっているようです。

また、女性が多いため、きめ細かな作業が得意で、出荷するときの野菜の荷姿がきれいなことが、農園の自慢です。

鷺野さんは、今後 30 年間農業を継続していくと考えており、今後の計画として施設の更新や規模拡大、販路拡大など様々なビジョンを描いています。

また、長期的な目線で人材を育成し、安定的な経営を維持していくことが重要だと考えているとのことでした。

